(別紙)納品ファイルの作成について

- 1. 納品ファイルについて
 - 1.1 検査データの「項目並び」を示すファイル
 - (1) ファイル名の先頭は納品日(西暦8桁の数字)で始めること
 - (2) 「(1) ファイル名」に続いて検査データの種別がわかる名前をつけること 当該ファイルには「項目」と明記すること
 - 例) 20150502 ○○○項目.txt ※○○○は健診種別(定期健診診断、4種抗体等)の名称
 - (3) シフト JIS 形式のテキストファイルに1行1検査名を記述すること
 - (4) 検査名は、「4. 項目名称について」の"表示名称"から検査種別に応じて選択すること
 - (5) 「表示名称」の英数字記号は半角、カナは全角に変換し統一すること
 - (6) 検査名が、「4.項目名称について」にない場合は、健診実施機関で使用する検査名を記入し、 検査名の先頭に「●」を付加すること
 - (7) 氏名、生年月日等の検査名以外の項目も「(5)」と同様にすること
 - (8) 検査名以外の項目は「●受診日、●受診番号、●学籍番号、●氏名(カナ)、●氏名(漢字)、 ●性別、●生年月日、●年齢、●学部学科、●学年」を使用し、この内「●受診日、●受診 番号、●学籍番号、●性別、 ●生年月日」を必須項目とする
 - (9) 既往歴、自覚症状については、「2. 既往歴・自覚症状の項目名について」を参照し、「既往歴_01」…「既往歴_12」、「自覚症状_01」…「自覚症状_26」の項目名を設定すること
 - (10) 同じ検査名を複数指定しないこと
 - 1.2 検査データファイル
 - (1) ファイル名の先頭は納品日(西暦8桁の数字)で始めること
 - (2) 「(1) ファイル名」に続いて内容がわかるような簡潔な名前を付けること 当該ファイルには「結果」と明記すること
 - 例) 20150502 ○○○定期健康診断結果.csv ※○○○はキャンパス名(永平寺 or 小浜)
 - (3) 上記の「検査データの「項目並び」で示した項目の結果値がシフト JIS 形式の CSV ファイルで出力されていること
 - (4) 検査データファイルは、受診キャンパスごとに別ファイルに分割されていること
 - (5) CSV ファイル内では区切り文字のみとして半角カンマ「,」を用いること
 - (6) 文字列等をダブルクォーテーション「"」でくくらないこと
 - (7) 数値結果については「3. 数値項目の小数点以下の桁数について」を参照し、小数点以下の 有効桁数でデータを作成すること
 - ・小数結果のある数値結果には、小数桁数分「0」が補完されていること (例:身長「cm] 正:175.0、誤:175)
 - ・「以上、以下、未満」は数値結果に連結して出力すること(例:0.05以下)
 - (8) 受診番号は同じ結果ファイル内で他の結果と重複しない 10 桁以内の数値とすること
 - (9) 学籍番号は8桁とし、桁に満たない場合は先頭に0が補完されていること (例:学籍番号 正:01234567 誤:1234567)

- (10) 既往歴・自覚症状に結果がある場合「あり」を記入し、ない場合は空白とすること ただし、既往歴_13(⑬その他)には具体的な病名を出力すること
- (11) 日付値は YYYYMMDD 形式で出力すること
- (12) 性別は、「男性」「女性」であること
- (13) 未受診の結果は空白とする。(結果欄に「未受検」などの文字が指定されていないこと)
- (14) 所見・定性結果は「5. 所見・定性結果の種類について」を参照し、該当する所見・ 定性値を使用すること(リストに該当しない結果が発生した場合は保健管理センターに連絡 すること)
- 1.3 納品時期
 - (1) 上記の「1.1」,「1.2」を同時に納品すること
- 2. 既往歴・自覚症状の項目名について
- 2.1 「健康調査票」の既往歴の欄は以下を参照して、対応する検査名を項目名とすること

健康調査票の項目 健診データの項目名

①心臟病 → 既往歴_01

②気管支喘息 → 既往歴_02

③高血圧 → 既往歴 03

④胃腸の病気 → 既往歴_04

⑤腎臟病(泌尿器系) → 既往歴_05

⑥貧血 → 既往歴 06

⑦糖尿病 → 既往歴 07

⑧甲状腺の病気 → 既往歴 08

⑨眼の病気 → 既往歴 09

⑩耳の病気(聴力低下含)→ 既往歴_10

⑪整形外科的な病気 → 既往歴 11

②皮膚科の病気 → 既往歴 12

③その他 → 既往歴_13

2.2 「健康調査票」の自覚症状の欄は以下を参照して、対応する検査名を項目名とすること

1)心雑音・不整脈があると言われたことがある \rightarrow 自覚症状 $_{-}$ 01

2)動悸や息切れがある → 自覚症状_02

3)咳又は、痰が1ヶ月以上続いている → 自覚症状_03

4)血圧が高いと言われたことがある → 自覚症状_04

5)よく頭痛がある → 自覚症状_05

6)食欲がない → 自覚症状 06

7)下痢・便秘をしやすい → 自覚症状_07

8)時々、腹痛がある → 自覚症状 08

9)身体がだるい、又は微熱が続いている → 自覚症状_09

10)めまいや立ちくらみがある → 自覚症状 10 11)*女子のみ 生理痛で生活に支障がある → 自覚症状_11 12)異常に口やのどが渇く → 自覚症状 12 → 自覚症状_13 13)首筋や肩がこる 14)関節痛・腰痛がある → 自覚症状 14 15)アレルギーと言われたことがある → 自覚症状_15 16)よく眠れない → 自覚症状_16 17)死にたくなる → 自覚症状 17 18)集中力がない → 自覚症状_18 19)気分が落ち込んでいる → 自覚症状_19 20)進路の悩みがある → 自覚症状 20 21)環境になじめない → 自覚症状_21 22)人間関係の悩みがある → 自覚症状_22 23)全く役に立たない人間だと思う → 自覚症状_23 24) (あることへの) こだわりが強すぎる → 自覚症状_24 25)全くやる気がでない → 自覚症状_25 26)いつも身体の調子が良い → 自覚症状_26

3. 数値項目の小数点以下の桁数について

以下の項目の「小数点以下の桁数」に必要なら四捨五入して設定すること(「桁数 0」は整数)

N 1 42 K 11 42 11 W W N 1 42 II	「妖」に担めより日	111 x / 0 (th/C) 0 C C (111 x)	0] (812.96)
身長	桁数 1	HCV 抗体	桁数 2
体重	桁数 1	水痘 IgG EIA 価	桁数 1
BMI	桁数 1	風疹 IgG EIA 価	桁数 1
裸眼右	桁数 1	麻しん IgG EIA 価	桁数 1
裸眼左	桁数 1	麻しん HI 法	桁数 1
矯正右	桁数 1	流行性耳下腺炎 IgG EIA 価	桁数 1
矯正左	桁数 1	HCV 抗体インデックス	桁数 3
収縮期血圧	桁数 0	HCV 抗体ユニット	桁数 1
拡張期血圧	桁数 0	喫煙歴	桁数 0
2 次収縮期血圧	桁数 0		
2 次拡張期血圧	桁数 0		
撮影番号	桁数 0		
2 次撮影番号	桁数 0	1	

4. 項目名称について

以下の表示名称から該当するものを選択すること

区分「01:数値、02:フリー、03:日付(YYYYMMDD 形式)、04:定性、06:所見」

4-1. 定期健康診断

コード,区分,表示名称

0010110,01,身長

0010120,01,体重

0010150,01, BMI

0030101,01,裸眼右

0030102,01,裸眼左

0030111,01,矯正右

0030112,01,矯正左

0040201,06,右聴力1000Hz

0040202,06,右聴力4000Hz

0040211,06,左聴力1000Hz

0040212,06, 左聴力4000Hz

0040401,06,2次右聴力

0040402,06,2次左聴力

0040501,06,2次右聴力1000Hz

0040502,06,2次右聴力4000Hz

0040511,06,2次左聴力1000Hz

0040512,06,2次左聴力4000Hz

0050101,01,収縮期血圧

0050102,01,拡張期血圧

0050301,01,2次収縮期血圧

0050302,01,2次拡張期血圧

0060110,06,内科所見

0060140,06,2次内科所見

0200310,06,2次心電図所見

0200320,03,2次心電図所見検査日

0300002,01,撮影番号

0300003,03,撮影年月日

0300006,01,2次撮影番号

0300007,03,2次撮影年月日

0300010,06, レントゲン所見(直接撮影)

0300020,06, レントゲン所見(間接撮影)

1000101,04,尿糖

1000201,04,尿蛋白

1000301,04,尿潜血

1002103,04,2次尿糖

1002203,04,2次尿蛋白

1002303,04,2次尿潜血

8010909,06, 喫煙の有無

8010911,01, 喫煙歴

8010912,06,欠食頻度の高い食事

8010913,06,ストレス解消法の有無

8010914,02,ストレス解消法

8010915,06,若い世代の性感染症の広がりの 認識

8010916,06,AED(自動体外式除細動器)設置場所

8010917,06,AED(自動体外式除細動器)の 使い方

4-2. 肝炎・4種抗体価検診

コード,区分,表示名称

2200111,02, HBs抗原

2200210,02, HBs抗体

2201010,04,HCV 抗体

2212010,01, 水痘 IgG EIA 価

2212020,06, 水痘 検査方法

2212050,04,水痘 IgG 判定

2213010,01,風疹 IgG EIA 価

2213020,06,風疹 検査方法

2213050,04,風疹 IgG 判定

2214010,01,麻しん IgG EIA 価

2214020,06, 麻しん 検査方法

2214050,04, 麻しん IgG 判定

2214060,01, 麻しん HI 法

2215010,01,流行性耳下腺炎 IgG EIA 価

2215020,06,流行性耳下腺炎 検査方法

2215050,04,流行性耳下腺炎 IgG 判定

2216010,01,HCV 抗体インデックス

2217010,01,HCV 抗体ユニット

5. 所見・定性結果の種類について

各検査項目の所見・定性値リストから該当するものを使用すること

検査項目	所見・定性値リスト
右聴力1000Hz	異常なし、正常、以前より異常あり、異常あり、異常、実施・未実施
右聴力4000Hz	異常なし,正常,以前より異常あり,異常あり,異常,実施・未実施
左聴力1000Hz	異常なし,正常,以前より異常あり,異常あり,異常,実施・未実施
左聴力4000Hz	異常なし、正常、以前より異常あり、異常あり、異常、実施・未実施
2次右聴力1000Hz	異常なし、正常、以前より異常あり、異常あり、異常、実施・未実施
2次右聴力4000Hz	異常なし,正常,以前より異常あり,異常あり,異常,実施・未実施
2次左聴力1000Hz	異常なし,正常,以前より異常あり,異常あり,異常,実施・未実施
2次左聴力4000Hz	異常なし, 正常, 以前より異常あり, 異常あり, 異常, 実施・未実施
内科所見	異常なし、異常あり
2次内科所見	異常なし、異常あり
レントケン所見(直接撮影)	異常なし、異常あり
レントケン所見(間接撮影)	異常なし、異常あり
尿糖	-, -,(-),(-), 陰性
	+-, +-, ±,(+-),(+-),(±), 擬陽性
	+, +,(+),(+),1+,1+,(1+),(1+),弱陽性
	++, ++, 2+, 2+, (++), (++), (2+), (2+), 陽性
	+++, +++, 3+, 3+, (+++), (+++), (3+), (3+), 強陽性
	++++, ++++, 4+, 4+, (++++), (++++), (4+), (4+)
尿蛋白	-, -,(-),(-), 陰性
	+-, +-, ±,(+-), (+-), (±), 擬陽性
	+, +,(+),(+),1+,1+,(1+),(1+),弱陽性
	++, ++, 2+, 2+, (++), (++), (2+), (2+), 陽性
	+++, +++, 3+, 3+, (+++), (+++), (3+), (3+), 強陽性
	++++, ++++, 4+, 4+, (++++), (++++), (4+), (4+)
尿潜血	-, -,(-),(-), 陰性
	+-, +-, ±,(+-), (+-), (±), 擬陽性
	+, +,(+),(+),1+,1+,(1+),(1+),弱陽性
	++, ++, 2+, 2+, (++), (++), (2+), (2+), 陽性
	+++, +++, 3+, 3+, (+++), (+++), (3+), (3+), 強陽性
	++++, ++++, 4+, 4+, (++++), (++++), (4+), (4+)
2次尿糖	-, -,(-),(-), 陰性
	+-, +-, ±,(+-), (+-), (±), 擬陽性
	+, +,(+),(+),1+,1+,(1+),(1+),弱陽性
	++, ++, 2+, 2+, (++), (++), (2+), (2+), 陽性
	+++, +++, 3+, 3+, (+++), (+++), (3+), (3+), 強陽性
	++++, ++++, 4+, (++++), (++++), (4+), (4+)
2次尿蛋白	-, -, (-), (-), 陰性
	+-, +-, ±,(+-), (+-), (±), 擬陽性
	+, +,(+),(+),1+,1+,(1+),(1+),弱陽性
	++, ++, 2+, 2+, (++), (++), (2+), (2+), 陽性
	+++, +++, 3+, 3+, (+++), (+++), (3+), (3+), 強陽性
	++++, ++++, 4+, 4+, (++++), (++++), (4+), (4+)

検査項目	所見•定性結果
2次尿潜血	-, -, (-), (-), 陰性
	+-, +-, ±,(+-),(+-),(±), 擬陽性
	+, +,(+),(+),1+,1+,(1+),(1+),弱陽性
	++, ++, 2+, 2+, (++), (++), (2+), (2+), 陽性
	+++, +++, 3+, 3+, (+++), (+++), (3+), (3+), 強陽性
	++++, ++++, 4+, 4+, (++++), (++++), (4+), (4+)
HCV 抗体	-, -,(-),(-), 陰性
	+, +,(+),(+),1+,1+,(1+),(1+),陽性
水痘 IgG 判定	-, -, (-), (一), 陰性
	+-, +-, ±,(+-),(+-),(±), 擬陽性
	+, +,(+),(+),1+,1+,(1+),
	++, ++, 2+, 2+, (++), (++), (2+), (2+), 陽性
	+++, +++, 3+, 3+, (+++), (+++), (3+), (3+), 強陽性
	++++, ++++, 4+, (++++), (++++), (4+), (4+)
風疹 IgG 判定	-, -, (-), (一), 陰性
	+-, +-, ±,(+-),(+-),(±), 擬陽性
	+, +, (+), (+), 1+, 1+, (1+),
	++, ++, 2+, 2+, (++), (++), (2+), (2+), 陽性
	+++, +++, 3+, 3+, (+++), (+++), (3+), (3+), 強陽性
	++++, ++++, 4+, 4+, (++++), (++++), (4+), (4+)
麻しん IgG 判定	-, -, (-), (一), 陰性
	+-, +-, ±,(+-), (+-), (±), 擬陽性
	+, +, (+), (+), 1+, 1+, (1+),
	++, ++, 2+, 2+, (++), (++), (2+), (2+), 陽性
	+++, +++, 3+, 3+, (+++), (+++), (3+), (3+), 強陽性
	++++, ++++, 4+, 4+, (++++), (++++), (4+), (4+)
流行性耳下腺炎 IgG 判定	-, -, (-), (一), 陰性
	+-, +-, ±,(+-),(+-),(±), 擬陽性
	+, +, (+), (+), 1+, 1+, (1+), (1+), 弱陽性
	++, ++, 2+, 2+, (++), (++), (2+), (2+), 陽性
	+++, +++, 3+, 3+, (+++), (+++), (3+), (3+), 強陽性
	++++, ++++, 4+, (++++), (++++), (4+), (4+)
2次心電図所見	異常なし、異常あり
喫煙の有無	吸う, 吸わない, やめた,
欠食頻度の高い食事	朝食,昼食,夕食
ストレス解消法の有無	ある, ない
若い世代の性感染症の広がりの認識	はい、いいえ、自分に関係ないことだ、自分には関係ない、自分には関係ないことだ
AED(自動体外式除細動器)設置場所	はい、いいえ
AED(自動体外式除細動器)の使い方	はい、いいえ
流行性耳下腺炎 検査方法	EIA 法 IgG
麻しん 検査方法	EIA 法 IgG, HI 法
風疹 検査方法	EIA 法 IgG
水痘 検査方法	EIA 法 IgG